

鹿児島大学大学院

循環器・呼吸器・代謝内科 教授

鄭 忠和 氏

TEI Chuwa

近年、女性外来を開設する病院が増えるなど、性差を考慮した医療が急速に発展している。2004年に発足した性差医学・医療研究会は年1回の学術集会を重ねてきたが、2008年2月9～10日にかけて開催される学術集会を機に、「性差医学・医療学会」として再出発することとなった。

2001年に、鹿児島大学病院で大学病院初となる女性外来を立ち上げ、また、性差医学・医療学会 第1回学術集会会長を務める鄭 忠和氏に話を聞いた。



患者に優しい医療 医学から医療へ、医療から医学へ

——性差医学・医療学会設立の経緯を教えてください。

わが国における性差を考慮した医療（Gender-specific Medicine：GSM）は、男女差に優しい医療として天野恵子先生（千葉県衛生研究所所長）が提唱して始まったものですが、5年前より性差医学・医療研究会を立ち上げ、研究・医療活動を続けてきました。また、2001年5月に鹿児島大学病院、同年9月に千葉県立東金病院で開設された女性外来をモデルとして、日本全国に急速にGSMが認知され、広がっていきました。

性差を考慮した医学・医療の基礎、臨床、疫学などのエビデンスが広く集積されてきたのを受け、その研究成果を疾病の治療、予防、そ

して国民の健康維持へとより反映させていくために、研究会発足から5年目にあたる今年、研究会を学会へと発展させ、さらなる充実をめざすことになったわけです。

——なぜ性差を考慮した医療が必要なのでしょう。

もともと医薬品の処方に関しては、老・若、体重の軽い・重い、男性・女性などによって異なる傾向はありました。特に女性は男性と違い、ライフサイクルにおける女性ホルモン変動の影響を受けます。10歳前後で月経が始まってからは、女性ホルモンの分泌により動脈硬化から守られます。しかし、50歳前後で閉経してからのも更年期・老年期では、動脈硬化などの

性差医学・医療：Gender-specific Medicine とは？

- 男女比が圧倒的に一方の性に傾いている病態
- 発症率はほぼ同じでも男女間で臨床的に差をみるもの
- いまだ生理的、生物学的解明が男性または女性で遅れている病態
- 社会的な男女の地位と健康の関連 など

に関する研究を進め、その結果を疾病の診断、治療法、予防措置へ反映することを目的とした医学・医療

危険性が格段に上がります。すなわち、処方すべき医薬品を性差によって区別する必要があるのです。

また、上記の生物学的性差だけではなく、男女の社会的な位置付けや関係性といった社会的性差も重要です。発症に男女差のある疾病が多くあることは周知の事実ですが、女性外来を開設し、性差に基づく治療や予防を提供することは、容易に医療機関を受診できない事情があった女性や、社会的な困難を抱えた女性にとっても非常に有用です。GSMを実践する女性外来は日本全国で、多くの患者から高い評価を受けています。

—— 第1回学術集会のテーマなどについて教えてください。

研究会から学会へ発展する契機となる第1回学術集会の会長を務めさせていただくことは非常に光栄です。学術集会のメインテーマは「患者に優しい医療—医学から医療へ、医療から医学へ」です。これは当学会の理念でもありますが、性差医学研究から得られたことを医療へ反映させていき、医療で蓄積したエビデンスを医学へ反映させていくことです。

学術集会には、欧米の性差医学・医療の第一人者である Marianne J Legato 先生（米国・コロンビア大学教授）や Vera-Regitz Zagrosek 先生（ドイツ・シャリテ大学教授）もお招きしています。また、わが国の行政からも大きな協力をいただき、期待されています。臨床の医療者や研究者、行政、法律関係者など、さまざまな立場からの情報を発信する場となり、専門分野を越えて性差医学・医療への理解を深めるユ

ニークで意義深いものになると考えています。

—— 性差医学・医療の分野において薬剤師に期待されることは何でしょうか。

今後、薬剤師の役割はますます大きくなり、患者と接する機会が多くなります。服薬指導などで性差に基づいた医療を患者に提供するために、性差医学・医療の正確な情報を習得していったほしいと思います。

米国でも、GSMによる循環器分野のガイドラインが2007年にできたばかりで、まさにGSMがこれから発展していくことを示しています。そのため医師主導に抛らず、医療従事者が皆同じスピードで発展させ、エビデンスを蓄積させていく分野であり、また、常に情報収集していないと最新の情報から遅れてしまう分野でもあります。当学会には約50人の薬剤師会員がいます。薬剤師の先生方にも当学会の学術集会などへの積極的な参加を期待したいと思います。（2008年1月11日インタビュー）

性差医学・医療学会 第1回学術集会

性差医学・医療学会は下記の要領で第1回学術集会を開催します。詳しくはホームページをご覧ください。

会期：2008年2月9日（土）・10日（日）

会場：コクヨホール（東京都）

ホームページ：

<http://www2.convention.co.jp/5gsmj/index.html>

事務局：鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科

TEL：099-275-5318 FAX：099-265-8447

E-mail：5gsmj@convention.co.jp